

《資料Ⅰ》

教科種目名【算数（算数）】

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい算数
<p>教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連</p>			<p>□教育基本法第2条に示されている「職業及び生活との関連を重視」することに関連して、身の回りから量の単位を探したり買い物での概算を行ったりする場面で写真やイラストが提示されている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、高学年の「算数の目で見よう」は現代社会での課題を算数的な視点で見るという内容が掲載されている。</p> <p>□学校教育法第30条に示されている「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、「算数マイノートをつくろう」ではノート作りを通して、自分や友達の考え、学習感想を書く活動が取り入れられている。</p> <p>□学習指導要領の教育内容の主な改善事項「道徳教育の充実」に関連して、他者の考えを認めるなどの活動を通して、公平な視点と敬愛の精神を育てることにつなげている。</p>
<p>かながわ教育 ビジョンとの 関連</p>			<p>□「思いやる力」に関連して、5年生では「失われる森林」という読み物の中で、世界全体で失われる森林の割合から世界の10年後を想像し、世界の人々と共に生きることを考えさせる教材が取り上げられている。</p> <p>□「たくましく生きる力」に関連して、6年生では「震災の経験を生かそう」をテーマに、算数で学んだ知識や技能を活用する題材が掲載されている。</p>
<p>内 容</p>			<p>□発展的な学習内容等では「おもしろ問題にチャレンジ」や「算数のおはなし」で先の学年の学習にふれるものや思考を深めるもの（ダイヤグラムの読み取り、拡大と面積など）が設定されている。</p> <p>□1年生の「なかまづくりとかず」では、学校生活にかかわる身近な場面が載せられている。</p> <p>□中学校との学習のつながりについて、6年生の教科書の副題を「数学へジャンプ」とし、巻末の「算数卒業旅行」の中に「中学校体験入学コース」という項目を設け、算数から数学への橋渡しを意識して構成されている。</p> <p>□2年生以上に、見通しを示し、学習をふり返る活動例として「考えよう伝えよう」が設けられている。</p> <p>□スパイラルによる学習活動として、単元の導入では、既習事項から新しい学習内容へのつながりが示されている。「おぼえているかな」は復習・準備問題として掲載されている。</p> <p>□神奈川県に関連することとして、相模原市と小田原市の地名を示す道路標識、横浜市のコスモクロック21の写真、「速さ」の問題文の中に示された駅名として「新横浜駅」が掲載されている。</p>
<p>構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁</p>			<p>□単元全体、毎時の授業で見通し・ふり返り学習活動が展開できるよう構成されている。</p> <p>□2年生以上に「算数自習コーナー」を設け、補充問題や発展問題等、自ら進んで取り組むことができる教材が設けられている。</p> <p>□「再生紙・植物油インキを使用しています。」と表示されている。</p>
<p>表記・表現</p>			<p>□「読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン書体を使用しています。」と表示されている。</p> <p>□教科書全体において項目ごとに色分けされたり、写真や図が効果的に使われたりしている。</p>

《資料Ⅰ》

教科種目名【算数（算数）】

発行者の略称	大日本	書名	新版たのしい算数
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p><input type="checkbox"/>教育基本法第2条に示されている「幅広い知識と教養を身に付け」ることに関連して、三角形を作るなどの算数的活動を通して、操作活動や自分で考え、伝え合うことができる題材が掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、「算数たまたまばこ」では、身の回りにある課題、発展的な学習課題、算数にまつわる話題が扱われている。</p> <p><input type="checkbox"/>学校教育法第30条に示されている「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、学習をふり返り、新しい学習へ取り組めるよう「ふりかえろう」「学習をひろげよう」が設定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>学習指導要領の教育内容の主な改善事項「体験活動の充実」に関連して、遠足や校外学習だけでなく、日常生活や他教科との関連で行われる施設訪問や清掃ボランティアなど幅広い体験活動が扱われている。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p><input type="checkbox"/>「たくましく生きる力」に関連して、ボランティア活動や日本社会の高齢化、食料の備えなど、社会的状況を反映した題材の問題が配置されている。</p> <p><input type="checkbox"/>「社会とかかわる力」に関連して、2・5・6年生で空き缶集めなど子どもの地域貢献活動にふれた場面設定がある。6年生で点字の仕組みが扱われている。</p>		
内 容	<p><input type="checkbox"/>発展的な学習については、「算数たまたまばこ」や「発展」で、次の学年の学習内容にふれるものや、考えを深めるものが設定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>2年生では、時刻を学ぶために、遠足で公園に行くといった生活の場面が載せられている。</p> <p><input type="checkbox"/>中学校との学習のつながりについて、6年生の巻末に「数学の世界へ」というページを設け、身近な問題についての算数的な考え方と数学的な考え方の違いが示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>2年生の「形をしらべよう」など、具体物を用いた作業や体験的な活動が全学年に設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>スパイラルによる学習活動として、単元の中に「ふりかえろう」のコーナーを設け、学習内容や考え方などの確かな定着ができるよう配慮されている。</p> <p><input type="checkbox"/>神奈川県に関連することとして、バスの時刻表の例示として「桜木町駅～横浜駅」、また、横浜ランドマークタワーの写真やメビウスの輪の実例として横浜市の市民ホールのオブジェの写真が掲載されている。</p>		
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	<p><input type="checkbox"/>全学年とも、学年1冊となっている。単元は、各領域の内容が集中しないように配列し、各単元をいくつかの小単元に分け、構成されている。</p> <p><input type="checkbox"/>興味・関心を高める特設ページ「算数たまたまばこ」がある。また学習進度に応じて適宜使用できる補充問題が巻末に設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>「この教科書は環境に配慮した紙と植物油インキを使用し、表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工し、抗菌処理をしています。」と表示されている。</p>		
表記・表現	<p><input type="checkbox"/>文字や数字が使う人に理解されやすい表記になっている。また、ふりがなとページ番号にはユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p> <p><input type="checkbox"/>単位時間の区切りのめやすが教科書の下部にマークで示されている。</p>		

《資料Ⅰ》  
教科種目名【算数（算数）】

発行者の略称	学図	書名	みんなと学ぶ 小学校 算数
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p><input type="checkbox"/>教育基本法第2条に示されている「幅広い知識と教養を身に付け」ることに関連して、料理や排水などの日常生活の様々な場面を取り上げ、算数で学んだ知識や技能を活用する問題が掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、「チャレンジ」では、身の回りにある課題、発展的な内容の課題、算数にまつわる話題が扱われている。</p> <p><input type="checkbox"/>学校教育法第30条に示されている「基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、2年生以上では、解法の手だてとして計算のきまりを使ったいろいろな人の考えが掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>学習指導要領の教育内容の主な改善事項「言語活動の充実」に関連して、「言葉のコラム」を設け、説明する際のキーワードとなる言葉や算数用語が取り上げられている。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p><input type="checkbox"/>「思いやる力」に関連して、「人口ピラミッド」を例に高齢化社会について算数で学んだ知識や技能を活用する問題が掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>「社会とかかわる力」に関連して、空き缶集めなど子どもの地域貢献活動にふれた場面が設定されている。</p>		
内 容	<p><input type="checkbox"/>発展的な学習については、「チャレンジ算数を使おう」「発展」で、四角形の分類や錐体の体積など、既習事項を使って考えを深め発展させていくものが設定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>6年生の「資料の調べ方」では、体育のソフトボール投げを測定し表現する場面が掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>中学校との学習のつながりについて、別冊で「中学校への架け橋」を添付し、数学でも使われる「考え方」を表す7つの「ことば」についてまとめ、算数と比較することで数学が扱う世界の広がりが見られている。</p> <p><input type="checkbox"/>算数的な活動を取り入れて学びたい内容には「活動マーク」を付け、児童が主体的に学習できるような問題が設定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>スパイラルによる学習活動として、「学びの準備」で新しい単元につながる既習事項が提示されている。「算数でよく使う考え方」では学年を通して数学的な考え方が具体的に示され、繰り返し学べるよう配慮されている。</p> <p><input type="checkbox"/>神奈川県に関連することとして、鎌倉駅時計台と横浜ナンバーの自動車のプレートの写真、神奈川県が全国第4位であるキウイフルーツの都道府県別収穫量の円グラフが掲載されている。</p>		
構 成 分 量 装 丁	<p><input type="checkbox"/>2年生以上の巻頭が「算数探検隊」のページを設け、生活や社会の中の算数に関する題材がカラー写真で紹介されている。</p> <p><input type="checkbox"/>高学年については、中学校と同様に学年1冊となっている。また、6年生に中学校との接続をはかる別冊「中学校へのかけ橋」がついている。</p> <p><input type="checkbox"/>「この教科書は、環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。」と表示されている。</p>		
表記・表現	<p><input type="checkbox"/>重要単元では、単元扉のページを設け、大判のイラストや写真を示しながら課題が提示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>単元名と合わせて「学習のめあて」が具体的に提示されている。</p>		

《資料Ⅰ》  
教科種目名【算数（算数）】

発行者の略称	教出	書名	小学算数
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<input type="checkbox"/> 教育基本法第2条に示されている「自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う」ことに関連して、マイバッグの利用、空き缶集めなどの環境改善の行動やリサイクルを題材にした問題が取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、コラム的な囲み課題や「算数ワールド」では児童が興味・関心を持つような課題が掲載されている。 <input type="checkbox"/> 学校教育法第30条に示されている「基礎的な知識及び技能を習得させる」ことに関連して、「学びの手引き」では、数直線の書き方やコンパスの使い方など、算数を学習していくうえで必要な知識や技能がまとめられている。 <input type="checkbox"/> 学習指導要領の教育内容の主な改善事項「道徳教育の充実」に関連して、お互いの考え方の良さを認め合う題材や、家族や社会との豊かな関わりを扱った題材が取り上げられている。		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<input type="checkbox"/> 「思いやる力」に関連して、話し合いや発表の中でお互いの考えを認め合う場面として、イラストの男女の児童の言葉が掲載されている。 <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」に関連して、新聞やテレビ、インターネットなどを活用している場面が複数見られる。資料を自分で集めて、グラフに表すなどの主体的な活動が扱われている。		
内 容	<input type="checkbox"/> 「発展」という項目を立て、「算数メモ」や「広がる算数」等様々なコーナーの中で、ナノメートルなどの新しい知識や言葉、さらには時間と分数・数の素因数分解等を扱うことでもっと学びたい意欲に込めている。 <input type="checkbox"/> 4年生の「角」や「垂直、平行と四角形」などでは、身の回りのものを測る活動が載せられている。 <input type="checkbox"/> 中学校との学習のつながりについて、6年生の巻末に「数学へのとびら」というページを設け、中学校で学習する内容の素地となる問題が掲載されている。 <input type="checkbox"/> 「はてな?」「なるほど!」のふきだしで、学習のねらいと考え方のまとめを示し、主体的に学習に取り組んでいくようにしている。 <input type="checkbox"/> スパイラルによる学習活動として、単元の導入では関連する既習事項を想起したり、活用して考えたりする場が設けられている。高学年では「学びのマップ」で既習事項をふり返ることができるように配慮されている。 <input type="checkbox"/> 神奈川県に関連することとして、横浜コスモクロック21、川崎市高層ビル群、小田原城の写真、小数の距離表示の例示として平塚市内の道案内標識、神奈川県の人口密度を求める問題が掲載されている。		
構 成 分 量 装 丁	<input type="checkbox"/> 巻頭・巻末に算数関連の写真に掲載し、算数を身近なものとして意識できるようにしている。 <input type="checkbox"/> 巻末に、家庭学習問題「ステップアップ算数」があり、単元ごとに「きほんの問題」と「レベルアップ問題」が用意されている。 <input type="checkbox"/> 「この教科書は環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。」と表示されている。		
表記・表現	<input type="checkbox"/> 既習事項を生かして考える「どんちゃん」と、発展的な見方を促す「ぐりちゃん」の2種類のどんぐりキャラクターが設けられている。 <input type="checkbox"/> 単元のまとめでは、4コマ漫画で考え方がまとめられている。		

《資料Ⅰ》

教科種目名【算数（算数）】

発行者の略称	啓林館	書名	わくわく 算数
<p>教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連</p>	<p><input type="checkbox"/>教育基本法第2条に示されている「職業及び生活との関連を重視」することに関連して、5・6年生の「算数から仕事へ」では、様々な職業に就いている方々からのメッセージが写真とともに紹介されている。</p> <p><input type="checkbox"/>教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、学んだことを活用する問題として各学年で「学びをいかそう」が設定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>学校教育法第30条に示されている「基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、単元末の「たしかめましょう」では学んだことを確認し、巻末の「発見！算数島」では学んだことを活用する問題が掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>学習指導要領の教育内容の主な改善事項「道徳教育の充実」に関連して、周囲への思いやりを大切にす題材として「江戸しぐさ」の七三歩きが取り上げられている。</p>		
<p>かながわ教育 ビジョンとの 関連</p>	<p><input type="checkbox"/>「たくましく生きる力」に関連して、2年生以上の各学年に「みんなで話し合おう」の場面を設け、話し合い方を学ぶ課題が設定されている。また、自由研究など、自分で活動を考える問題が取り上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/>「社会とかかわる力」に関連して、自己の成長に関する題材として6年生の算数卒業研究の「なぜ、算数を学ぶのでしょうか」が掲載されている。</p>		
<p>内 容</p>	<p><input type="checkbox"/>発展的内容については☆のマークで示され、児童の興味・関心に応じて扱うことができる題材が掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>5年生の「割合」では、クラブの希望調査やクラブの定員を求める場面が載せられている。</p> <p><input type="checkbox"/>中学校との学習のつながりについて、6年生の巻末の「算数卒業研究」で算数を学ぶ意義を考えさせるなど、中学校数学について紹介されている。</p> <p><input type="checkbox"/>3年生以上には、「算数実験室」を設定し、学んだことを実験によって確認し、考える活動を取り入れている。</p> <p><input type="checkbox"/>スパイラルによる学習活動として、次の単元の内容につながる既習問題の「準備」から始まり、各単元末には基礎・基本の定着のために「たしかめましょう」が設定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>神奈川県に関連することとして、湘南ひらつか七夕まつり、横浜国際女子マラソン、みなとみらいのタワーマンションの写真、さらには大きな数の一例として横浜市の人口が掲載されている。</p>		
<p>構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁</p>	<p><input type="checkbox"/>「準備」というコーナーがあり、既習事項を確認した後に単元を学習し、復習、発展問題という展開で学習の流れが構成されている。</p> <p><input type="checkbox"/>2年生以上には、「わくわく算数学習」を設けて、思考力を高めコミュニケーションを図りながら共同学習が進められるように構成されている。</p> <p><input type="checkbox"/>「この教科書は、色覚の個人差を問わず、より多くの人に必要な情報が伝わるようデザイン・配色しました。」「再生紙と植物インキを使用しています。」と表示されている。</p>		
<p>表記・表現</p>	<p><input type="checkbox"/>学習のめあてやヒントとなる着眼点、まとめなど見出しが表記され、学習展開が示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>復習問題では、確かめられたことがわかるように印をつける欄が問題番号の前に記載されている。</p>		

《資料Ⅰ》

教科種目名【算数（算数）】

発行者の略称	日 文	書 名	小学算数
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p><input type="checkbox"/>教育基本法第2条に示されている「幅広い知識と教養を身に付け」ることに関連して、「なるほど算数」では、身の回りの算数に関する題材が取り上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/>教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、「いち・に・算活」では、算数的活動を通して児童の興味・関心を高めるために身の回りにある教材が掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>学校教育法第30条に示されている「基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、「学び方ガイド」では問題解決的な学習過程が掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>学習指導要領の教育内容の主な改善事項「道徳教育の充実」に関連して、より良い生活習慣を身に付けたり、家族と豊かに関わろうとする心を育てる場面が取り上げられている。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p><input type="checkbox"/>「思いやる力」に関連して、児童が他者との話し合いを通じて協力することや、相手を意識して分かりやすく発表することの大切さが、「算数でつかいたいことば・考え方」のコーナーで示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>「社会とかかわる力」に関連して、リサイクル活動や災害に対する備えなどを取り上げ、算数で学んだ知識や技能を活用する場面が掲載されている。</p>		
内 容	<p><input type="checkbox"/>発展的学習については「選んで学ぼう」。「なるほど算数」の中で、次の学年で学ぶ内容へつなげたり、考えを深めたりする問題が扱われている。</p> <p><input type="checkbox"/>3年生の「ものの重さをはかろう」では、重さを比べたり量ったりする場面が取り扱われている。</p> <p><input type="checkbox"/>中学校との学習のつながりについて、6年生の巻末の「マテマランドの探検」の中で「もうすぐ中学生」という題材が取り上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/>問題解決的な学習を進めていく際の着眼点をまとめた「ガイド」や、自分の考えを説明するための「算数で使いたいことば・考え方」が掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>スパイラルによる学習活動として、新しい単元に入る前に「次の学習のために」のページが設けられ、既習学習の復習とともに定着を確認し次の学習活動に進むようになっている。</p> <p><input type="checkbox"/>神奈川県に関連することとして、みなとみらいの写真とともに横浜市の人口密度を求める問題、神奈川県が全国第4位であるキウイフルーツの都道府県別収穫量の表・円グラフ・帯グラフが掲載されている。</p>		
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	<p><input type="checkbox"/>紙面はA B判であり、側注が設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>2年生以上の上巻頭には、問題解決的な学習展開例や算数ノート例、教科書の使い方が明記されている。</p> <p><input type="checkbox"/>「この教科書はカラーユニバーサルデザインに配慮しています。また、植物油インキと再生紙を使用しています。」と表示されている。</p>		
表記・表現	<p><input type="checkbox"/>各ページの右側にガイドがあり、学習を進めていく際の着眼点がまとめられている。</p> <p><input type="checkbox"/>各項目で課題となる問題(明朝体)と練習問題(ゴシック体)で書体を変えている。</p>		

《資料Ⅱ》

教科種目名【算数（算数）】

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

○教育基本法第2条及び第6条第2項の内容

第2条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。	
一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	
東書	体育の走り幅跳びの場面など他教科の題材を取り上げ、算数で学んだ知識や技能を活用して問題を解く場面が掲載されている。
大日本	三角形をつくるなどの算数的活動を通して、操作活動や自分で考え、伝え合うことができる題材が掲載されている。
学図	料理や排水など日常生活の様々な場面を取り上げ、算数で学んだ知識や技能を活用する問題が掲載されている。
教出	エネルギー消費量のグラフを取り上げ、算数で学習した知識や技能を活用して考える問題が掲載されている。
啓林館	健やかな身体を養うことに関連して、日常生活における算数を活用する例として、食事の計画を立てる場面が掲載されている。
日文	「なるほど算数」では、「いろいろな速さの表し方」など身の回りの算数に関する題材が掲載されている。
二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	
東書	身の回りから量の単位を探したり、買い物の中での概算を行ったりする場面で写真やイラストが提示されている。
大日本	生活の場面の中で算数が関連する例として、買い物の代金や博物館の入館料の場面が掲載されている。
学図	職業に関する題材として、ペンキを塗る問題（割合の問題）が掲載されている。
教出	学習を実生活に活用する場面として、宇宙太陽光発電などの題材が掲載されている。
啓林館	5・6年生の「算数から仕事へ」のページでは、職業に就いている方からの一言が写真とともに紹介されている。
日文	生活の中で算数が関連する例として、買い物の代金を見積もる場面が掲載されている。
三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	
東書	「算数を使ってやってみよう」などのコーナーで、経済や環境問題が提示されている。
大日本	自他の敬愛と協力を重んずるように、生活の中で活用できる題材がテーマに取り上げられている。
学図	「チャレンジ算数を使おう」などのコーナーで、「食」「環境」など現代の社会生活に関する課題が提示されている。
教出	「算数メモ」「算数ミニクイズ」などで、現代の経済や社会生活に関する紹介がされている。
啓林館	ボランティア活動として、空き缶集めを題材にした問題が取り上げられている。
日文	「なるほど算数」「いち・に・算活」のコーナーで、国による違いとして「数の区切り方」が提示されている。
四 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	
東書	表やグラフから、ゴミの減量と二酸化炭素の排出量の問題が取り上げられている。
大日本	ペットボトルや食品トレーなど、リサイクルを題材にした問題が掲載されている。
学図	アルミ缶の再利用など、身近なゴミ問題に視点をあてた問題が取り上げられている。
教出	マイバッグの利用や空き缶集めの場面など、環境改善の行動やリサイクルを題材にした問題が取り上げられている。
啓林館	ゴミの削減について、3Rすべての活動を題材にした問題が掲載されている。
日文	「筆算のしかたを考えよう」の単元では、リサイクル活動全般を取り上げられている。

五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

東書	6年生では「算数卒業旅行」というテーマのページの中で和算コース・国際コースがあり、まとめて取り上げられている。
大日本	3年生以上で設問に日本に来た外国人の数や数を英語で言ってみようなど、外国とのかかわりを扱うコラムがある。歴史的なものは6年生の巻末の「ワクワク算数ミュージアム」歴史フロアで多く扱われている。
学図	「大きな数」で世界の人口を扱った場面では、人口以外にあいさつの言葉も取り上げている。黄金比のパルテノン神殿や拡大・縮図のロシアの民芸品、日本の着物の柄等今に残るものに目を向けさせている。
教出	1年生以外の各教科書巻末のステップアップに、その学年の昭和初期の教科書がのせられている。素数とセミや円筒分水、いろいろな単位などを扱った読み物が掲載されている。
啓林館	2年生以上に「昔の教科書」のコーナーがある。算数の歴史に触れるものが多い。対称や縮図の他問題場面の設定に、伝統的な建物(大仙古墳・出島)や伝統工芸品、江戸しぐさなど今に伝わるものが用いられている。
日文	和算やローマ数字等、歴史的な内容が掲載されている。6年生では「マテマランドの探検」というコーナーが巻末に設定され、その中の歴史コースではオイラー・ガウス・関孝和・パスカル・ユークリッド等の数学者の紹介やその数学の内容が説明されている。
第6条 2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。	
東書	高学年の「算数の目で見よう」は現代社会での課題を、算数的な視点で見るという内容が掲載されている。
大日本	「算数たまたまばこ」では、身の回りにある課題、発展的な内容の課題、算数にまつわる話題が扱われている。
学図	「チャレンジ」では、身の回りにある課題、発展的な内容の課題、算数にまつわる話題が扱われている。
教出	コラム的な囲み課題や「算数ワールド」では、児童が興味・関心をもつような課題が掲載されている。
啓林館	学んだことを活用する問題として、各学年で「学びをいかそう」が設定されている。
日文	「いち・に・算活」では、算数的活動を通して児童の興味を高めるために身の回りにある教材が掲載されている。

### ○学校教育法第30条の内容

第30条 ② 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。	
東書	「算数マイノートをつくろう」では、ノート作りを通して、自分の考えや友達の影響、学習感想を書く活動が取り入れられている。
大日本	学習をふり返り、新しい学習へ取り組めるよう「ふりかえろう」「学習をひろげよう」が設定されている。
学図	2年生以上では、解法の手だてとして計算のきまりを使ったりいろいろな人の考えが掲載されている。
教出	「学びの手引き」では、数直線の書き方やコンパスの使い方など、算数を学習していくうえで大切な内容や技能がまとめられている。
啓林館	単元末の「たしかめましょう」では学んだことを確認し、巻末の「発見!算数島」では学んだことを活用する問題が掲載されている。
日文	「学び方ガイド」では問題解決的な学習過程が掲載されている。

### ○学習指導要領の教科の目標

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。	
東書	単元の導入に算数的活動を取り入れている。また単元末には、学ぶことの楽しさや意義を実感して進んで生活に生かそうとする態度が身に付くよう「やってみよう」のコーナーが設けられている。
大日本	全学年合本になり、1年間の学習の見通しがもてる。また巻末に索引「教科書に出てきた大切なことがら」、また「算数の学び方」でノートの作り方が示されている。
学図	算数と生活のかかわりを大切にするために日常場面から算数を導入し、学習したことを生活の中で活用することができるようにしている。また教科書の構成を巻頭に分かりやすく説明されている。
教出	4コマ漫画で単元の考え方をまとめたり、活用問題、特設教材等で発展的な学習にも取り組めるように構成されている。また「学びのマップ」では今までの学習とのつながりが示されている。
啓林館	学習の進め方や教科書の使い方などを巻頭で説明している。また、進んで学習に活用できるよう算数資料集が巻末に掲載されている。
日文	単元の導入に算数的な活動の紹介をすることで学習へ関心・意欲が持てるように構成されている。また教科書の端にはふりかえるための手立てがあり、自ら学習できるよう構成されている。



○学習指導要領の教育内容の主な改善事項に関連する内容

言語活動の充実	
東書	表現活動、言語活動の一つとしてノートづくりを扱い、「算数マイノートをつくらう」では、既習事項を生かして新しい問題を解決するための工夫がまとめられている。
大日本	巻頭の「たのしい算数の使い方」と「算数の学び方」で学習の進め方とノートの取り方を確認している。必要な情報を選び、解決する問題が取り上げられている。
学図	「言葉のコラム」を設け、説明する際のキーワードとなる言葉や算数用語が取り上げられている。「ノート名人になろう」では、学習したことを分かりやすくまとめる例が示されている。
教出	学びの手引きで、算数の学習で使いたい考え方やノートの書き方の手本を示している。既習事項を基にして考えを広げ、学習を進めることができるよう構成されている。
啓林館	説明する活動を系統的に扱っている。算数資料集「わくわく算数ノート」と「わかりやすく説明しよう」で自分の考えのまとめ方と伝え方が確認されている。
日文	巻末にある学び方ガイドを使うことで、自分の考えを分かりやすく表現できるように工夫されている。また、巻頭に「算数ノートをつくらう」というコーナーが掲載されている。
伝統や文化に関する教育の充実	
東書	昔の長さの単位や算数に関する用語の意味などがコラムに紹介されている。和算や地域に根付いていた工業製品の資料の読み取り問題などが取り上げられている。
大日本	問題の題材には、こまやあやとりなど伝承的な遊びを取り上げている。和算の問題を通して算数の発展に努力してきた偉人が紹介されている。
学図	算数に関する用語の意味などがコラムに紹介されている。主に図形学習に関係する歴史的な建造物の写真が掲載されている。
教出	昭和10年ごろに使われていた教科書が紹介されている。昔の単位などがコラムに紹介されている。
啓林館	金箔づくりなど伝統工芸に関することが問題に取り上げられている。昔の教科書「尋常小学算術」にある問題が紹介されている。
日文	日本古来から使われてきた長さや時間の単位や円周率の課題に努力をしてきた日本と世界の偉人などがコラムで紹介されている。
道徳教育の充実	
東書	他者の考えを認めるなどの活動を通して、公平な視点と敬愛の精神を育てることにつなげている。
大日本	環境保全に関連する題材や、美しいものに感動する心を育てる題材が取り上げられている。
学図	生命の尊重、規範意識の向上に関連する内容や、美しいものに感動する心を育てる題材を取り上げている。
教出	お互いの考え方の良さを認め合う題材や、家族や社会との豊かな関わりを扱った題材を取り上げられている。
啓林館	周囲への思いやりを大切にする題材として、「江戸しぐさ」の七三歩きを取り上げられている。
日文	より良い生活習慣を身に付けたり、家族と豊かに関わろうとする心を育てる場面が取り上げられている。
体験活動の充実	
東書	時刻と時間・概数の求め方以外に偶数と奇数・倍数と約数やひろさくらべの単元でも校外学習が問題に取り上げられている。
大日本	遠足や校外学習だけでなく、日常生活や他教科との関連で行われる施設訪問や清掃のボランティアなど幅広い体験活動が扱われている。
学図	遠足や校外学習だけでなく、野菜栽培やいもほりなど自然体験活動の場面が学年・単元の中で取り上げられている。
教出	時刻と時間に関する単元では、遠足や町たんけんなど、児童が共通して体験している内容が取り上げられている。
啓林館	「学びに生かそう よみとる算数」の中で、生活科や社会科での校外学習を題材にした問題文を提示し、その中から課題が作成されている。
日文	単位量当たりの大きさで、班の人数と部屋の面積から広さを比べるなど、体験学習と結びついた内容が掲載されている。

## 2 かながわ教育ビジョンとの関連

	<p>【思いやる力】 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。 (共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育など)</p>
東書	5年生では「失われる森林」という読み物の中で、世界全体で失われている森林の割合から10年後を想像し、世界の人々と共に生きることを考える教材が取り上げられている。
大日本	児童が他者との話し合いを通じて協力することや、相手を意識してわかりやすく発表することの大切さが、「算数の学び方」のコーナーで示されている。
学図	「人口ピラミッド」を例に高齢化社会について、算数で学んだ知識や技能を活用する問題が掲載されている。
教出	話し合いや発表の中で、お互いの考えを認め合う場面としてイラストの男女の児童の言葉が掲載されている。
啓林館	自他の敬愛と協力を重んじるよう、友達の考えの良いところを認め、言葉にする活動がノート指導の中で示されている。
日文	児童が他者との話し合いを通じて協力することや、相手を意識してわかりやすく発表することの大切さが、「算数でつかいたいことば・考え方」のコーナーで示されている。
	<p>【たくましく生きる力】 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。 (公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力など)</p>
東書	6年生では、「震災の経験を生かそう」というテーマで、算数で学んだ知識や技能を活用する題材が掲載されている。
大日本	ボランティア活動や日本社会の高齢化、食料の備えなど、社会的状況を反映した題材の問題が配置されている。
学図	自分の町の日の出の時刻や人口密度、縮図を利用した自分の学校の校舎の高さ調べなど、学んだことが自分自身の生活の中で生かす問題が設定されている。
教出	新聞やテレビ、インターネットなどを活用している場面が掲載される。資料を自分で集めてグラフに表すなど、児童の主体的な活動が扱われている。
啓林館	2年生以上の各学年に「みんなで話し合おう」の場面を設けて、話し合い方を学ぶ課題が設定されている。自由研究や実験レポートなど、自分で活動を考えるような問題が取り上げられている。
日文	学んだことを身の回りに当てはめて調べ、グラフや新聞を作ったりするなど、自ら学習活動を創る場が設定されている。
	<p>【社会とかかわる力】 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献できる力を育てる。 (生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動など)</p>
東書	5年生では「ごみの減量と二酸化炭素の量」というテーマで、資料の読み取りを通して環境問題について考えさせる題材が取り上げられている。
大日本	2・5・6年生で空き缶集めなど子どもの地域貢献活動にふれた場面が設定されている。6年生で点字の仕組みが扱われている。
学図	2年生以降空き缶集めなど子どもの地域貢献活動の場面が扱われている。2年生の町内のそうじから6年生の地球環境の予測まで学年による内容が取り上げられている。
教出	2・3・4・5年生で場面設定としてリサイクルが扱われている。3・4年生では消火器の使用時間や非常持ち出し袋が題材として扱われている。
啓林館	自己の成長に関する題材として、6年生の算数卒業研究の「なぜ、算数を学ぶのでしょうか」が掲載されている。4・5・6年生で、環境を題材として扱っている単元が設定されている。
日文	3年生の「たし算とひき算の筆算のしかた」の単元全体でリサイクル活動が取り上げられている。5年生「割合を調べよう」では災害に対する備えがテーマとして設定されている。

## 3 内容

調査研究項目		—算数的活動例の教材数—	東書	大日本	学図	教出	啓林館	日文
A 数と計算	1年	具体物を数える活動	3	3	2	3	2	3
		計算の意味や仕方を表す活動	14	9	10	9	10	10
	2年	整数が使われている場面を見付ける活動	2	2	3	2	2	2
		乗法九九表からきまりを見付ける活動	2	2	2	3	2	3
	3年	計算の仕方を考え説明する活動	11	17	15	17	13	15
		小数や分数の大きさを比べる活動	3	3	3	3	3	3
	4年	計算の結果の見積りをし判断する活動	2	1	1	1	3	2
5年	計算の仕方を考え説明する活動	8	9	8	8	7	9	
6年	計算の仕方を考え説明する活動	4	4	4	4	4	4	
B 量と測定	1年	量の大きさを比べる活動	15	9	10	11	8	8
	2年	量の大きさの見当を付ける活動	3	3	3	4	5	4
	3年	単位の関係を比べる活動	5	5	6	8	5	5
	4年	面積の求め方を考え説明する活動	5	9	8	7	6	7
		面積を実測する活動	2	1	1	1	1	2
	5年	面積の求め方を考え説明する活動	8	8	9	9	9	8
6年	単位の関係を調べる活動	4	4	6	5	3	4	
C 図形	1年	形を見付けたり、作ったりする活動	7	8	8	9	9	8
	2年	図形をかいたり、作ったり、敷き詰めたりする活動	9	10	10	11	11	11
	3年	正三角形などを作図する活動	4	4	4	4	4	4
	4年	平行四辺形などを敷き詰め、図形の性質を調べる活動	1	3	3	2	2	2
	5年	合同な図形を書いたり、作ったりする活動	2	3	2	2	2	2
		図形の性質を帰納的に考え説明したり、演繹的に考え説明したりする活動	3	3	4	4	4	4
6年	縮図や拡大図、対称な図形を見付ける活動	9	15	12	11	11	12	
D 数量関係	1年	場面を式に表す活動	8	8	8	8	8	8
	2年	図や式に表し説明する活動	6	6	6	7	7	5
	3年	資料を分類整理し表を用いて表す活動	1	1	1	1	1	1
	4年	身の回りの数量の関係を調べる活動	2	3	3	3	3	3
	5年	目的に応じて表やグラフを選び活用する活動	2	2	2	2	4	2
	6年	比例の関係をj用いて問題を解決する活動	2	2	3	2	2	2

調査研究項目		東書	大日本	学図	教出	啓林館	日文	
1	発達や学年の段階に応じたスパイラルによる学習活動の数	1年	31	29	35	72	52	59
		2年	67	64	56	54	85	100
		3年	74	60	66	78	80	115
		4年	67	52	60	79	85	123
		5年	66	71	70	69	104	129
		6年	95	87	77	109	125	123
2	言葉、数、式、図、表、グラフなどを使って表したり、説明している数	1年	109	90	89	108	94	92
		2年	107	110	91	104	106	101
		3年	118	112	86	108	102	122
		4年	103	114	103	108	97	112
		5年	116	115	120	121	98	119
		6年	120	113	114	119	119	120
3	学校生活、家庭生活等の身近な場面のページ数	1年	33	29	24	36	33	24
		2年	26	32	22	28	20	30
		3年	17	26	30	17	25	40
		4年	13	19	16	21	16	19
		5年	6	12	8	6	17	9
		6年	10	12	22	20	22	20
4	図形に関するページ数	1年	9	10	7	10	11	10
		2年	18	19	22	21	21	23
		3年	23	24	32	28	22	27
		4年	37	41	39	40	32	39
		5年	50	45	49	46	36	43
		6年	26	31	32	29	32	27
5	資料の整理に関するページ数	1年	8	5	2	2	2	2
		2年	3	5	6	4	8	2
		3年	12	13	12	15	10	12
		4年	13	13	15	13	14	19
		5年	8	8	4	8	4	7
		6年	11	14	10	10	8	9
6	面積、体積に関するページ数	1年	5	3	4	6	4	4
		2年	9	7	10	10	8	10
		3年	0	0	0	0	0	0
		4年	18	17	18	15	16	20
		5年	38	32	33	36	30	37
		6年	34	23	36	31	26	23
7	神奈川県に関する場面の数	1年	0	1	0	0	0	0
		2年	1	1	2	0	0	0
		3年	2	1	0	2	1	0
		4年	0	0	0	1	2	0
		5年	1	0	1	3	3	2
		6年	2	2	1	2	1	1
8	他の教科等と関連する数	1年	49	35	39	26	46	52
		2年	47	61	52	30	54	34
		3年	98	99	85	97	83	85
		4年	95	124	103	87	146	139
		5年	121	128	124	94	108	128
		6年	143	97	113	92	164	75
9	多様な考え方・解き方が扱われている課題数	1年	1	1	1	0	0	2
		2年	2	3	4	1	1	1
		3年	7	6	0	4	0	3
		4年	5	3	6	3	4	4
		5年	11	10	12	5	7	4
		6年	7	5	5	5	6	1
10	そろばんのページ数	3年	3	4	3	4	5	4
		4年	2	4	3	3	2	4
11	円周や円周率について記載されているのページ数	5年	13	13	16	13	10	14
		6年	13	7	8	7	8	10

## 4 構成・分量・装丁

調査研究項目		東書	大日本	学図	教出	啓林館	日文	
1	総ページ数	1年	164	150	152	168	172	166
		2年	236	220	238	242	278	282
		3年	274	228	272	258	290	306
		4年	292	252	276	288	290	318
		5年	288	246	290	276	278	310
		6年	260	238	264	240	292	266
2	各単元の練習問題の数 (基礎的・基本的な知識及び技能を確認するための 小問の総数)	1年	338	245	329	428	658	439
		2年	866	515	635	688	946	862
		3年	1029	843	919	1025	1313	1350
		4年	1134	826	791	1097	1108	1151
		5年	807	702	798	911	1024	1049
		6年	477	494	488	533	674	775
3	発展的な学習内容等の数	1年	0	0	0	4	3	0
		2年	0	0	1	7	3	4
		3年	2	2	3	5	2	6
		4年	5	2	3	3	2	4
		5年	3	1	0	8	2	2
		6年	13	8	7	12	10	13
4	巻末付録の数	1年	2	1	4	2	3	2
		2年	6	4	5	6	3	6
		3年	9	3	3	1	2	5
		4年	10	3	3	2	3	8
		5年	3	6	4	3	4	6
		6年	3	4	2	3	2	1
5	章末・巻末等の練習問題の数	1年	34	40	46	63	76	43
		2年	158	207	158	156	219	269
		3年	196	250	206	220	269	346
		4年	205	261	183	231	250	309
		5年	241	251	200	236	266	286
		6年	185	234	157	215	229	234
6	説明文や解法が示されている基本問題 の数	1年	68	35	45	84	46	53
		2年	142	93	90	99	113	103
		3年	153	113	132	126	134	134
		4年	159	133	151	158	144	168
		5年	109	122	165	124	129	125
		6年	91	84	104	83	111	79

ページ数	東書						大日本					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
23年度版総ページ数	157	204	242	266	258	226	146	216	228	267	246	243
27年度版総ページ数	164	236	274	292	288	260	150	220	228	252	246	238
23年度版との比較	+4%	+16%	+13%	+10%	+12%	+15%	+3%	+2%	0%	-6%	0%	-2%
A(数と計算)単元数	10	9	10	8	7	2	10	11	10	6	7	2
B(量と測定)単元数	5	4	3	2	3	5	4	4	3	2	4	5
C(図形)単元数	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	4	2
D(数量関係)単元数	1	1	2	3	2	5	2	1	2	4	4	5

ページ数	学図						教出					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
23年度版総ページ数	158	244	253	268	281	280	152	204	208	296	272	242
27年度版総ページ数	152	238	272	276	290	264	168	242	258	288	276	240
23年度版との比較	-4%	-2%	+8%	+3%	+3%	-6%	+11%	+19%	+24%	-3%	+1%	-1%
A(数と計算)単元数	11	10	10	9	7	3	11	9	10	9	7	2
B(量と測定)単元数	3	4	3	2	3	4	3	4	3	2	4	4
C(図形)単元数	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	4	2
D(数量関係)単元数	1	1	2	4	2	5	2	2	2	4	3	5

ページ数	啓林館						日文					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
23年度版総ページ数	160	264	266	272	267	284	162	219	262	282	259	244
27年度版総ページ数	172	278	290	290	278	292	166	282	306	318	310	266
23年度版との比較	+8%	+5%	+9%	+7%	+4%	+3%	+2%	+29%	+17%	+13%	+20%	+9%
A(数と計算)単元数	16	10	13	9	7	2	12	9	12	10	6	3
B(量と測定)単元数	4	4	2	2	4	5	4	4	3	2	4	5
C(図形)単元数	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	3	2
D(数量関係)単元数	0	1	2	3	2	5	2	2	2	4	4	5

5 表記・表現

調査研究項目		東書	大日本	学図	教出	啓林館	日文	
1	表の数	1年	0	0	0	2	0	
		2年	13	13	8	20	15	11
		3年	26	18	23	28	15	33
		4年	44	42	49	47	42	56
		5年	69	52	102	71	57	85
		6年	89	72	109	88	79	83
2	グラフの数	1年	1	1	1	2	1	2
		2年	6	5	5	13	3	8
		3年	28	20	17	34	21	35
		4年	21	20	14	36	30	54
		5年	23	19	24	41	24	26
		6年	43	28	24	35	48	23